

しなやか通信 第30号

2010年 冬

輝き続けることを望み手作りの活動を！
 発行 しなやかシニアの会
 事務局 リュエルしなやか 代表 佐藤 明子
 住所： 520-0043 大津市中央1丁目8-27
 電話/FAX： 077(558)7233
 e-mail: shinayaka077@nifty.com
 HP: <http://www.shinayakashinia.com/>

偶然出会った仲間との何気ない会話から、「しなやかシニアの会」の構想が生まれました。準備期間を含め、活動を始めてから間もなく10年になります。

当時抱いていた加齢に伴う漠然とした不安、消え去るものではありませんが、自然現象として受け容れつつ、前向きに元気で楽しく過ごそうとの基本概念は変わりません。具体的には何をしたらいいのか、ずっと模索しながら活動を続けて来ました。この間、基幹メンバーも年を重ね、さらに家族や取り巻く環境なども変化し、それに伴い思いの丈を充分に行動に移せないもどかしさも感じています。

世の中も大きく変わり、シニアを取り巻く現象は社会問題となっています。これまでに多くの方が「しなやかシニアの会」の活動に関わって頂き、会員登録も増えました。皆様と共に、それぞれが持っている知識や情報を交換し、連帯感を持てる会として、次なる10年を目指して進んでいきたいと願っています。

十二月 花遊び
 「お正月飾り」に
 取り組んで、
 真剣な眼差しで、
 思い々のアレンジ
 に挑戦
 昨年
 した
 に
 続
 き
 好
 評
 で



理想のシニアの共同住宅構想に向けて

「人民の、人民による、人民の為の政治」とは、リンカーンの有名な言葉ですが、私達も『自分達の自分達による自分達の為のシニアハウスを考えてみよう』とのテーマで話し合いを持ちました。

人生を逆算して、考える時期に差し掛かってくると、旅行は早目に元気なうちに、不要な物の整理を心がけよう、等々の思いに駆られます。しかし人生の終着は神のみぞ知る。「いつか・・・」「そのうち・・・」と思いつつ暮らすうち、月日は容赦なく流れていくでしょう。

その時、たとえ高額な資金を捻出して高齢者施設に入所しても、傍目には至れり尽くせりの環境が、生活する上に必ずしも満足できるものとは限らないかもしれません。

人件費の出費を抑える為に、お互いに助けあいつつ、プライバシーを維持しながらも孤独や不安を感じない快適な空間ができないものでしょうか。

「終わり良ければすべて良し」との格言通り、山あり谷ありの人生の最後を、支えあい労わりあいつつ過ごしたいものです。

西川

予定

- 2月27日(土) お話&談話会 (チラシ同封)
「滋賀の木で家を建てよう - 地産地消の原点 - 」
- 3月13日(土) 菜の花茶会 (チラシ同封)
- 3月21日(日) 狐のお宿(企画「パレード・きつねコンチキ行列」に協賛して同日 オープンします)

しなやかなつばやき

今年初め、「あなたの今年の目標は？」と聞かれて、子供の頃は「今年は跳び箱を頑張る！」なんて可愛く答えていたことを思い出したが、「新年にあたっての決意」なぞ久しく考えたことがなかった。年をとるとともに夢や目標をもつことをおき忘れてきたようだ。もっとも新年の決意は紙に書いて忘れ去るものだというのもよく知っているが。

最近私の若い友人は、何年も前に話していた夢を思い出させてくれる。ものを習うに遅すぎることはない。「六十の手習い」の慣用語に習って、今年は新しいことにチャレンジしよう。優しい友は「五十の手習いよ」と言ってくれた。そういえば、しなやかのメンバーの一人が五十肩に悩まされているが、これは何歳になっても五十肩と言うらしい。(K.S)

国松巖太郎氏(スケッチ倶楽部講師)の 作品展示お知らせ

時：3月17日(水)～ 3月31日(水)

所：リュエルしなやか 二階

「足のむくまま - 大津編」

創建当時は城下の町家も武家屋敷もみな、わらびき屋根でした。唯一の瓦ぶきの寺だったのが、右のスケッチの縁心寺、通称「膳所の瓦寺」と呼ばれていた・・・こんな逸話の沢山あるスケッチ展です ～ 是非 一度 ご覧ください



スケッチ倶楽部予定
 2月18日(木) 10:00 から
 リュエルしなやか
 3月18日(木) 10:00 から
 県立図書館 池 集合

予定・お知らせは Home Page に随時のせておりますので、是非、チェックして下さいね。
 「しなやかシニアの会」で検索すると出てきます HP: <http://www.shinayakashinia.com/>